

平成30年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和元年6月20日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1		
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例		
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。うち、1名以上は文化庁が主催する指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー修了者または同等の知識等を有すると教育委員会が認める者 2 管理責任者は「考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員」から選任すること	選定区分	公募 非公募
設置目的	縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。		
設置年月	平成23年10月	建設費	633,867千円
構造規模等	敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡		
開館時間 休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日（休日の場合は最も近い平日）・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日		
料金体系	<input type="checkbox"/> 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 入館者に関すること（受付・案内、体験学習・体験講座企画運営、展示・環境管理） ①ミニチュア土器づくり、縄文ペンダントづくり、縄文編み、組紐アクセサリーづくり等 ②定期講座「春の縄文染め」等 ③定期講座キッズプログラム「縄文釣り体験」等 ④企画展「南かやべ発掘調査のあゆみ～掘っちゃいました！縄文時代」 イ 資料の利用に関すること（資料の保管・借受け・利用許可、指定文化財の取扱い） ウ 維持管理に関すること（清掃、警備、設備保守点検、塵芥処理、除雪、修繕） エ その他センターの維持管理に関し必要と認められる業務（物品等の調達、光熱水費等の支払い） オ その他教育委員会または指定管理者が必要と認める業務（公金収納、危機管理、広報等） (2) 自主事業 ア 道の駅内売店の運営、ミュージアムグッズ販売 イ シーニックの日 花苗植栽活動、シーニックdeナイト2019			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 広報誌「ステップ・アップ」、ホームページ等による広報活動 イ 国宝「中空土偶」の帰国に係る特別企画 ウ 南かやべ縄文まつり（特別講演、縄文フォトコンテスト作品展、縄文ワークショップ等） エ DOKI DOKI JOMON EXPO（ミニチュア土器づくり）			

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア アンケートボックスの設置（通年）

イ 窓口対応（通年）

4 施設の利用状況

・平成30年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	1,258	2,873	1,893	2,136	3,734	1,956	1,458	1,221	308	440	506	969	18,752

・年度別利用件数

年度	← 当期指定期間 →			(単位：人、円)	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
利用件数	19,688	19,795	18,752		
使用料収入	4,415,310	4,516,380	4,225,350		

※平成28年度から指定管理者制度導入

5 指定管理者の収支状況

区分	← 当期指定期間 →			(単位:円)	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入	委託料	46,352,000	46,351,636	46,351,636	
	利用料金				
	事業収入	638,252	740,800	754,800	
	雑入	0	0	0	
	計	46,990,252	47,092,436	47,106,436	
支出	人件費	22,127,998	21,157,739	20,307,806	
	消耗品費	1,027,710	2,314,190	1,738,085	
	印刷製本費	770,430	279,412	510,620	
	修繕費	145,000	216,000	458,400	
	水道光熱費	4,627,263	4,841,084	4,786,616	
	通信費	382,722	570,763	429,736	
	業務委託費	8,882,695	9,012,978	8,939,873	
	リース料	1,356,468	956,162	1,057,085	
	租税公課	3,746,964	3,507,279	3,489,367	
	原材料費	392,212	0	0	
	その他の支出	3,489,691	4,492,655	1,049,672	
	計	46,949,153	47,348,262	42,767,260	
	当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト	2,130	2,113	2,246	

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有 ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。	入館の受付や許可および入館料の徴収、収納管理を適切に履行し、南茅部地域の発掘調査の歴史を振り返る企画展や講演会を企画・開催するなど、事業内容の充実を図った。 今後の課題としては、雨漏りなどの施設の経年劣化に伴う各種課題の解決や、夏場の館内温度上昇・雨天時の館内湿度上昇等に対する対応について、市と協議を進めながら改善を図って参りたい。
サービスの質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	お客様の要望等を常に従業員が共有し、入館案内・解説・講座等を工夫し、各種業務のサービス向上に努めた。	毎日閉館後にスタッフミーティングを行い、お客様からの質問や要望等を職員が共有し、サービスの向上に努めた。 また、お客様からはアクセスの改善、最新の発掘・研究成果や世界文化遺産登録に向けた情報発信を希望する声も寄せられており、改善可能な事案から解決を図って参りたい。
団体の経営状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	特に問題なし。	お客様の声に常に耳を傾けてニーズの把握に努め、サービスの向上につなげて参りたい。また、適切な展示替えや展示解説の充実を図ることで、縄文文化の価値を広く情報発信できる施設として、より良い運営を行って参りたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われている。	入館者数の確保について、継続的に創意工夫を行い、引き続き適切な管理運営に努めていただきたい。 なお、収支決算書をはじめとする経理事務の一部に誤りがあり修正が必要であったことから、今後は経理事務経験者を確保するなど、正確な経理事務に努めていただきたい。
サービスの質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		接遇等のサービスの質の向上に向け、定期的な研修の実施、スタッフ間の情報共有に取り組むよう努めていただきたい。
団体の経営状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	団体の経営状況に問題はない。	引き続き安定した団体運営に努めていただきたい。

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。